

2019年(R元年)

7月

No. 330

# ひとはまっり



社会福祉法人 ひとは福社会  
〒739-1203  
広島県安芸高田市向原町長田1857番地  
TEL(0826)46-2960 FAX(0826)46-4355

(ホムパ-ゾアド リ) http://hitoha-fukushi.com (X-ルアド リ) honbu@hitoha-fukushi.com

まさかこんなに早く「うたがるエウな」暑さにさらされるとは思いませんでした。温暖化は、一人ひとりにできることは何かを問いかけています。

先月、安芸高田市の障がいのある人たちのふれあい交流会がありました。私も「枯れ木も山の賑わいで」きららの住川さんの相棒として参加しました。彼はあまり動きが俊敏でなく、私の動きに合わせてくれますので、似たり寄ったソのヤジキキタさんです。

私の目論見は、この機会を通してボランティアとして協力してくださっている人たちに、できるだけ住川さんを紹介してみようと思いました。トイレで高校生に「よろしく頼むで」と声をかけ、ゲームが終わると近くにいる方々とハイタッチをして喜びました。この会の目的である「ふれあい」は、まさに肌と肌のふれあいからです。年をとるのも悪いわけではありません。だからこそつなぎ役を引き立て役もでき、周囲を和ませる役割も引き受けることができます。「あ〜、面白かった」。

(理事長 寺尾 文尚)

## 第18回 ひとはまっり

～みんなが楽しもうひとはまっり～

令和元年 9月7日(土)

今年も開催します!!

詳細は  
追ってお伝え  
します!

ギフトカタログ出来上がりました!

夏の贈り物にピッタリの“縄文 あいす”や、ギフト初登場の“もち麦どーなつ”など、ひとはの逸品をギフトにしました。お世話になっているあの方へ、是非ご活用ください♪ (商品管理部 出田広志)

### あたらしく入ったひとはの仲間たち

- ① 名前 ② 所属 ③ 最近笑ったエピソード

29歳 ① 城崎 果那  
② ひとは工房  
③ 1歳の次男が頭を打った際、なでてもらったのが嬉しかったのが、わざと頭をぶつけ“よしよし”して、という表情でくるようになりました。頭をなでてもらう時の子どもの表情は、やった!!と言わんばかりの笑顔で、本当にかわいく、何度も繰り返す行動に感涙してしまいます。

29歳 ① 川崎 香苗  
② ひとは長屋  
③ スマートフォンを買い替えるため、主人と出かけた時のこと。「令和になつてから来てくださーい」と店員さんに言われ、大阪生まれで「ありませんか!」「おんてやねん!」と突、込みを入れたことになりました。月立たしてを乗り越えて笑ってしまった出来事です。

### 後援会員よりお便りが届きました。

寺尾さん おげんきですか。じゃんごさんの、ちっちゃな、コメントありがとう。私は、元気です。おねがいします。1口、2000円は、高すぎます。いくらでも、いいと思います。一人、一人のあせと、なみだと。どんなの、たもつのです。 弘子

6月、素足につっかけ。数年ぶりに会う弘子さんは私達との待ち合わせ場所にラフな格好で現れた。文尚さんと生ビールを注文。お母さん亡き後、障がい者基礎年金とわずかな工賃。妹家族は近くにいるが、一人暮らし。似島学園時代を3人で語り2時間。最後に生ビールをもう1杯注文。そして広島駅で別れた。弘子さんはいつも変わらない。

(寺尾順子)

# 「頼もしい言葉」

男性は吉田口馬の清掃活動、女性はおかき製造作業と、それぞれ仕事に取り組みることになった日のこと。|時間余り過ぎた頃、清掃から帰ってきた宮崎さんが「帰りました!! 袋詰め皆でやりませう!!」と勢いよくドアを開け帰ってきました。少人数では少し不安に思っていた私には、その言葉がとても嬉しく心強く感じたのです。それから全員揃っての作業はあ、という間に終わりました。一人一人の力が集まると、こんなにも大きな力になるのだと改めて気付かされた午後でした。(就労センターあぶ 奥田照子)

# 「大きな"まる"」

89歳の真近さん(カレー)が大好きで、おかわりされるほどです。食べ終わると、頭の上に大きな"まる"を作って、「おいしかった!!」と言われます。私も嬉しくなります。時には、下膳するのみで食堂を出られることもあるので、あまり好みのメニューではなかったのかなあと思うこともあります。これからも、真近さんの大きな"まる"がたくさん見られるといいなと思います。(食事部 迫岡明枝)

# 「思い出の」

ボウリング大会が盛り上がり、隣に座った植田さんが「司馬さん、がんばれ!」と手拍子しながら観望し応援しています。俱りにいた井上大輔さんと目が合い「ん!? ここには司馬さんはいないけど」と思いながらも、植田さんの楽しそうな姿に引き込まれ、3人で一緒に応援しました。すごく楽しい雰囲気になり、その後も自分から手拍子をしたながら笑顔で楽しむ植田さん。後になって話を聞くと、以前のボウリング大会で司馬さんの応援をしてすごく盛り上がった日があったとのこと。植田さんにとっては今でも覚えている思い出のワンシーンです。(ひと作業所 加納吉大)

# 「変化」

私と彼の出会いは2年前の夏休み。雨、雷、夕方が苦手な私、引込み、思案な彼でしたが、ひとはほ、この活動を通して、同じ年の子や下の学年の子と関わりを持つことにより、よく笑い、明るく話すことができるようになっていました。時には友達とゆくり過ぎることもするなど、できることが増えた彼の姿を私は近くで見えてきました。一人の時間が好きだった彼の世界が広がり、「松浦さん」と声をかけてくれることが私の元気の源です。(ひとはほ、こ 松浦望)

# 「農園のアイドル」

4月からひとは農園に中島さんとスタッフの岡崎さん、若い人が新たに加わり、女性も3名とまりました。男性が多い農園では皆さんのご想像どおり、色めき立っています。中島さんはいつもニコニコ笑顔の可愛い人で、ダンスとギャグが大好きです。おっさんばかりの農園なので「カトラパンペ...」とか「ア〜ン」など往年のギャグを教えてください。ある日の朝、中島さんに「おはよ」と声をかけると、ものすごく低い声で「どうも、麒麟です」と言って部屋に入ってきました。大爆笑です!! 今までより、もっと楽しい農園になる予感がしています。(ひとは工房 丸岡洋二)



## 編

## 集

## 後

## 記

ちゅうど1年前顎が開かなくなると、おにぎりの厚みが開かず、噛むと痛いので固形物が食べられず、フランスパンやせんべいなど、歯ごたえのあるものが好きで私にとっては一大事である。困り果てて接骨院へ通い、数ヶ月かけてなんとか回復。ところが先日、再び顎が痛くなってきた。再発かと思いい接骨院の先生に相談すると、私の顔を少し眺めた後「試しに右顎で噛むようにしてみてください」とアドバイスをもらった。半信半疑でやってみると、右側で食べるのが下手なこと。食べ物は残るわ、口の中はかわわ、挙句の果てに右のこめかみが筋肉痛に。いかに右側を使っていたか、たかと思いきや知らされた。そして、右顎で食べ物を噛むようにしてから3日後、見事に痛みが消えてなくなった。先生の見立てにも驚いたが、無自覚の恐ろしさを身をもって経験した出来事だった。(白井くみこ)

